

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 17 日 (2006.8.17)

【公開番号】特開 2001-18906 (P2001-18906A)

【公開日】平成 13 年 1 月 23 日 (2001.1.23)

【出願番号】特願 平 11-189227

【国際特許分類】

B 6 5 B 7/10 (2006.01)

B 6 5 B 51/06 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 7/10

B 6 5 B 51/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 30 日 (2006.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

押し潰された袋口部を上にして立置きされた袋包装体の前記袋口部の側方から進退可能であり前記袋口部への進出状態で前記袋口部を挟込み可能な一対の挟み爪、袋首部を巻き込むため前記袋口部を挟み込んだ状態で前記挟み爪を回転させる巻き込み駆動手段、前記巻き込み駆動手段による前記袋首部の巻き込み動作と同時に前記袋首部の巻き込み量に応じて前記挟み爪を降下させる昇降手段、及び巻き込まれた前記袋首部の前記袋包装体の本体に対する巻戻りを防止する巻戻り防止処理手段から成る袋包装体の袋首部巻き込み装置。

【請求項 2】

前記昇降手段は、前記巻き込み駆動手段を支持すると共に装置フレームに昇降可能に設けられた昇降体と、前記装置フレームに取り付けられると共に前記昇降体を昇降させるアクチュエータとから構成されており、前記巻き込み駆動手段は、前記昇降体の昇降運動を回転運動に変換する運動変換機構によって駆動されることから成る請求項 1 に記載の袋包装体の袋首部巻き込み装置。

【請求項 3】

前記運動変換機構は、前記装置フレームに前記昇降体を間に挟んで前記昇降体の昇降方向に隔置して回転自在に配置された一対の定置プーリと、前記巻き込み駆動手段として前記昇降体に回転自在に支持された移動プーリと、前記昇降体に移動不能に取り付けられると共に前記定置プーリ及び前記移動プーリに巻き掛けられた無端体とから構成されることから成る請求項 2 に記載の袋包装体の袋首部巻き込み装置。

【請求項 4】

前記巻き込み駆動手段と前記昇降手段は互いに独立した駆動源によって駆動され、前記袋首部の巻き込み量に応じて前記挟み爪を降下させるため、前記巻き込み駆動手段の回転駆動量と前記昇降手段の昇降駆動量とは互いに関連して制御されていることから成る請求項 1 に記載の袋包装体の袋首部巻き込み装置。

【請求項 5】

前記挟み爪は、前記袋包装体の中心線よりも偏位した位置で前記袋口部を挟み且つ昇降することから成る請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の袋包装体の袋首部巻き込み装置。

【請求項 6】

前記巻戻り防止処理手段は、巻き込まれた状態の前記袋首部と前記袋包装体の本体とに跨がって粘着ラベル又は粘着テープ等の粘着片を付着させる付着手段であることから成る請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の袋包装体の袋首部巻込み装置。